

年頭のあいさつ

小城市議会 議長 中島 正之



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、一昨年から継続する新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の中、延期されていた「東京2020オリンピック・パラリンピック」が無観客とは言え無事に開催できたのは、日本だからこそやり遂げることができたのではないかと誇らしく感じたところでございます。

市民の皆さまには長期に渡り不要不急の外出自粛など精神的、経済的にも大きな影響をもたらしております。

未だに終息が見えない中、皆さまにおかれましてもご心配、ご苦勞が絶えないことと察しております。

佐賀県内では、昨年末に向けてようやく新規感染者数に歯止めがかかり少しずつ日常を取り戻し始めた矢先、オミクロン株の流行が世界的に驚異的な感染力で拡大しているとの報道等を気にしつつ、なんとかこのまま終息に向かって欲しいと願っております。

小城市議会では、昨年も国、関係省庁及び佐賀県選出国会議員への要望活動、継続的な支援要請を行い、牛津川流域の遊水地計画の事業化、災害関連の支援など一定の成果をあげることができました。

また、これまでもケーブルテレビによる議会放映、議員定数の削減、タブレット端末の導入などの議会改革を行ってまいりました。

今後は、さらにタブレット活用によるペーパーレス化の実現に向け、なお一層の議会改革に取り組んでまいります。

これからも、開かれた議会を目指し、市民の皆さまの声を十分お聞きし、活発な議論を重ね、市民の皆さまが安心して健やかに暮らせるまちづくりに向け、引き続き全力を尽くしてまいります。

結びに、本年が市民の皆さまにとりまして、幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心より祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

市議会 要望活動

11月8、9日、小城市議会全議員と執行部で、

一昨年と今年の短期間に2度の水害に遭った対策を加速するため、国土交通省と農林水産省を訪問し、要望活動を行った。

国土交通省において、波辺副大臣や水管理・国土保全局長の井上局長へ牛津川遊水地の整備に向けた集団移転への支援や、『河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）』の更なる推進を求めた。



▲国土交通省にて



▲農林水産省にて